



研究・研修報告書

令和7年2月4日

小牧市議会議長 様

会派名	無会派
代表者氏名	大上利幸

研究・研修の結果を報告します。

記

1 参加議員

大上利幸

2 日程

令和7年1月28日（火）29（水）

3 研究・研修名

病院事業会計の質問の極意

4 主催者

地方議員研究会

5 会場

リファレンス西新宿大京ビル

6 受講の目的

病院事業会計の把握

7 主な内容

講師 城西大学経営学部教授 伊関友伸氏

1月28日（火）

10:00～12:30

自治体病院の基礎と課題

- ・自治体病院の歴史と課題
- ・病院の統合・再編問題を考える
- ・コロナ対応と地域医療構想
- ・各地の病院経営成功事例
- ・各地の病院問題の混乱事例～政治家の不勉強が招く悲惨な事例

14:00～16:30

病院経営質問虎の巻①

- ・ 地方公営企業年鑑からわかる事実
- ・ あなたの街の病院会計を見る
- ・ 医師数や給与、手当は比較することで見えてくる
- ・ 女性医師数と研修マッチング
- ・ 財政課や職員も知らない病院改革の勘所

1月29日（水）

10:00～12:30

病院経営質問虎の巻②

- ・ 施設認定診療報酬加算の見方
- ・ あなたの街の取れてない加算教えます
- ・ 議員質問の必殺技 DPC 係数の基礎と活用手法
- ・ 参加自治体の P D C 係数からわかる質疑ポイント
- ・ 問題を取り上げるだけで病院収支は改善される

14:00～16:30

病院経営収支改善のススメ

- ・ 公立病院経営強化プランのおさらい
- ・ 人口減少、少子高齢化を考える
- ・ 交付税制度と自治体病院の関係
- ・ 医師、看護師の採用のポイント
- ・ 病院職員を唸らせる質疑ポイント

8 具体的内容と取組

『自治体病院の基礎と課題』では公立病院の役割と現状の説明があり、世界的に見て日本の病床数が多いため、医師・看護師が分散配置された結果として診療密度が低く在院日数が長くなっていること、自治体（公立）病院の約60％が赤字経営であること、現状の説明がありました。

『病院経営質問虎の巻その1その2』では自治体病院を評価する経営データについて説明があり、前半では最重要データである「地方公営企業年鑑」の見方と医師招聘関連データについて学び、後半では診療報酬加算、DPC など自治体病院の医療提供体制のデータを中心にその意味を学びました。

『病院経営収支改善のススメ』では2022年3月29日に総務省から全国の公立病院及び関係自治体に「持続可能な地域医療提供体制を確

保するための公立病院経営強化ガイドラインについて」通知があった内容のわかりやすい説明があり、「経営強化」に関する具体的な取組への考え方を学びました。その後、指定管理の失敗例・成功例や医師・看護師の雇用確保に向けた成功事例などを学びました。

この研修を通じて、議員が自治体病院のことをきちんと勉強して的確な質問をすることで数千万円から数億円の経営改善が出来ることが理解出来ました。これまでは病院の経営数値のみで判断して質問をしていましたが、今後は財務の改善だけでなく、自治体病院の本来の目的である「良い医療、相対的に安価で効率的な医療を行うこと。」をしっかりと理解して、健全な圧力や応援の発言をするように取り組みたいと思います。